

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語Ⅴ（4 M）	
科目基礎情報							
科目番号	0064		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	一般教科（人文科学系）		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	自作プリント；Ted Talk						
担当教員	ティラビ イビフ						
到達目標							
1. 原稿を見ずに、毎分120語程度の速さで2分程の口頭発表ができる。 2. 毎分120語程度の速さで2分程の口頭発表を聞いて、内容を理解することができる。 3. プレゼンテーションの基本的な構成と基礎的な語彙・表現を身に着けて、身振り手振りやスライド資料などを用いて発表ができる。 4. 英語で身近なトピックについて自分の意見を述べるができる。 5. グループ発表とポスター発表を行うことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	原稿を全く見ずに、毎分120語程度の速さで2分程の口頭発表ができる。		ところどころ原稿を見れば、毎分120語程度の速さで2分程の口頭発表ができる。		最初から最後まで原稿を見なければ、毎分120語程度の速さで2分程の口頭発表ができない。		
評価項目2	メモを取りながら、毎分120語程度の速さで2分程の口頭発表を理解し、内容に関する質問ができる。		メモを取りながら、毎分120語程度の速さで2分程の口頭発表を理解することができる。		メモを取りながらでも、毎分120語程度の速さで2分程の口頭発表を理解することができない。		
評価項目3	プレゼンテーションの基本的な構成と基礎的な語彙・表現を身に着けて、身振り手振りやスライド資料などを用いて発表ができる。		プレゼンテーションの基本的な構成と基本的な語彙・表現は身に着けているが、身振り手振りやスライド資料は効果的に使うことができない。		プレゼンテーションの基本的な構成と基礎的な語彙・表現を身に着けておらず、身振り手振りやスライド資料などを用いた発表も行うことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
(D)コミュニケーション能力 D-2							
教育方法等							
概要	英文読解、口頭発表の作業を通じ、総合的な英語力の向上を目指す。本講義では特に、英語プレゼンテーションの技能に焦点を当てている。具体的には、与えられたテーマや自分のことについて、スライド資料等を用いながら、毎分120語程度の速度で、2分程度の口頭発表ができることを目標とする。また、英語Ⅳに引き続き、教科書を用いた英作文演習も行っていく。						
授業の進め方・方法	演習形式で行い、英語プレゼンテーションに必要な技能を身に着ける。基本的な流れは下記の通りである。 (1) 目標とする技能に関する教員によるデモンストレーション。 (2) 教科書の英文を読み、テーマに関する基礎知識を身につけるとともに、本文で使用されている文法事項を身につける。 (3) 本文の内容について、発表の準備を行う。 (4) 学生による口頭発表 (5) 発表の評価と議論 ・英語Ⅳで行った発音の訓練も引き続き行っていく。 なお、授業の進度や内容は、学生の理解度等を見て変更する場合もある。						
注意点	60点を合格点とする。学期末の成績は、英語での口頭発表60%、宿題25%、クラスでのパフォーマンス15%で評価する。 4回の発表を予定している。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1. Course guidance 2. Getting ready for the presentation		1. 授業の進め方と評価の仕方について説明する。 2. 自己紹介のプレゼンテーションの概要を作成できる。		
		2週	1. Unit 1 A Recommendations 2. Introduction and conclusion of presentation		1. 提案や理由を述べるを表現する方法を学ぶ。 2. プレゼンテーションのスムーズな開始と終了の方法を学ぶ。		
		3週	1. Unit 1 Recommendations 2. Presentation techniques: note cards & eye contact		1. プレゼンテーションの準備 2. 効果的なノートカードの作成方法とアイコンタクトの使用方法について学ぶ。		
		4週	presentation 1 on Recommendations		unit1で学んだ単語を使い、ワードカードやアイコンタクトなどのプレゼンテーションスキルを使って、おすすめの話題についてプレゼンテーションをすることができる。		
		5週	1. Unit 2 A memorable experience 2. Focusing on language: expressions for telling memorable experience		unit 2の言語表現を使ってさまざまな思い出に残る経験についてクラスメートと話すことができる。		
		6週	1. Unit 2 A memorable experience 2. Presentation techniques: gestures& body language		1. 語彙を使用して思い出に残る経験の表現を練習する 2. 効果的なジェスチャーとボディランゲージを使用して練習する		

		7週	1. Unit 2 A memorable experience 2. Preparations for Pechakucha presentation	1. 思い出に残る経験についてアイデアをアウトラインにまとめる。 2. ペチャクチャ発表用のスライドが作れるようになる
		8週	Pechakucha presentation on A memorable experience (shows 10 slides for 20 seconds of each)	思い出に残る経験について、10枚のスライドに20秒ずつペチャプレゼンテーションで発表する。
	4thQ	9週	self-reflection on first two presentations by using mind map	自分のプレゼンテーションについて、良かった点、改善すべき点を振り返ることができるようになる
		10週	1. Unit 3 i will show you how 2. Presentation techniques: using your voice& using stress to emphasize intensifiers	1. プロセスに関する表現を練習する。 2. プレゼンテーションテクニック：自分の声を使う、強調したい部分にストレス（強勢）を置く
		11週	1. Unit 3 i will show you how 2. Making presentation outline	unit 3で学んだキーワードを使い、プレゼンテーションのアウトラインを作成する。
		12週	Giving presentation on the process of making something	何かを作るプロセスについてプレゼンテーションを行う。
		13週	1. Unit 4 Learning new cultures 2. Focusing on language: expressions for describing countries and their cultures	国＆文化について説明する表現を学ぶ。
		14週	1. Unit 4 Learning new cultures 2. Presentation techniques: sentence stress& phrasing with pauses	文化についてプレゼンテーションテクニックを練習する：文章の強勢と一時停止のあるフレージング
		15週	poster presentation on different countries and cultures	文化に関するポスター発表を行う。
		16週	feedback and sefl-refelction	自分のプレゼンテーションを振り返り、学んだプレゼンテーションスキルを今後の学業や仕事にどう活かすかを考えることができる

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	

評価割合

	試験	発表	宿題	態度	出席＆クラスのパフォーマンス	最終プロジェクト	合計
総合評価割合	0	60	25	0	15	0	100
基礎的能力	0	60	25	0	15	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0